

令和4年度 北斗市立久根別小学校の学校経営

学校教育目標

自ら考え行動する子ども

令和2年4月1日改訂

考えづくり

【目指す子ども】

◎粘り強く最後まで考える子ども

【方策】

- 学習内容を定着させるために、「め・じ・こ・ま」の学習過程を粘り強く継続する。
- 自分から学習に取り組むいたいと思うように、めあての表現や取り組みませ方を工夫する。
- 自分に自信がもてるように、思いを発信する場や機会を増やす。(ICT機器の活用)
- 家庭学習の習慣化のために、学年に応じて取組内容や方法を工夫する。(ICT機器の活用)

心づくり

【目指す子ども】

◎自分やほかの人の良いところを進んで見つける子ども

【方策】

- いじめの未然防止のために、早期発見と迅速解決に向けた組織的な取組を継続する。
- 気持ちの良い挨拶を増やしていくために、挨拶の良さや意味を伝え、良い挨拶をほめる。
- 進んで考えを表出できる子どもを育てるために、ICT機器を有効活用する。
- 相手のことを考えて行動できるように、友達の良いところを見つけ認める場や機会を設定する。

体づくり

【目指す子ども】

◎楽しく体を動かして健康に気を付ける子ども

【方策】

- 新型コロナウイルス感染防止のために、効果的な指導方法を工夫改善する。
- 体力の向上のために、縄跳び月間やマラソン月間の取組を継続する。
- 楽しく運動に親しむために、リズム表現・ダンスの機会設定や松の木エリア等の活動を工夫する。
- 取り組む意欲をもたせるために、目標設定、活動記録、成果発表(放送等)の活動に取り組ませる。

◎令和4年度久根別小学校で取り組む重点事項

授業づくりを楽しめる教職員が、学ぶ喜びを感じる子どもを育てる～授業の質の向上～

チーム久根別小の指導力向上

- 子どもの学ぶ意欲を高めるために、ICT機器を効果的に活用できる研修を多く設定する。
- 校内外の研修で得たことを指導に生かすために、研修内容を実践し、実践したことを共有する。
- 若手がベテランに尋ねやすい雰囲気をつくるために、日常の実践を交流する場を設定する。

子どもと向き合う体制づくり

- 児童理解を深めるために、保護者面談、児童との教育相談の機会を設定する。
- 保護者に学校の様子を知らせるために、学年通信やHPの活用のほか、オンライン授業を工夫する。
- 子どもの良さを伸ばすために、担任外の教員等の情報も生かして授業づくりや指導体制を工夫する。
- 学級や係業務、研修に時間を活用できるよう、各教員が作成した教材(プリント類)を共有し、活用する。